

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市大岡地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

1 全事業共通

地域の現状と課題について

大岡地域ケアプラザのエリアは本大岡地区、井土ヶ谷地区の2つのエリアが対象となっています。2つのエリアを併せた人口は約 29,000 人（地区概況シート：平成 28 年 9 月現在）。65 歳以上の高齢化率は約 26%。2 年前の調査より約 3% 増となっています。

両エリアの課題としては、高齢者本人のみならず、本人を取り巻く家族の問題、孤立化の問題、経済的な問題など様々で、地域ケアプラザに寄せられる相談も、誰にも頼ることのできない「キーパーソン」不在の高齢者の増加や行政、地域、また様々な関係機関等と連携しなければ対応できないような相談が増えています。

また、要支援等軽度者のサービス提供においては「総合事業」へと移行している中で、軽度者の方々の受け皿の整備、地域で活動できる人材の掘り起し、育成など、地域包括ケアシステムを形作っていく上での大きな課題となっています。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・地域の福祉・保健の窓口として、南区役所と連携して対応していきます。特に状況の込み入ってる方々等の相談、対応については、様々な関係機関と連携を深め、迅速に対応していきます。
- ・包括エリアである井土ヶ谷地区については、区役所の移転により相談窓口がこれまでより遠くなってしまったこともあるため、月に3回行っている「出張相談」に一人でも多くの方に足を運んでいただけるよう地域の民生委員の方々等と検討しながら見直しを図っていきます。

(2) 各事業の連携

- ・委託事業である地域包括支援センター、地域活動交流事業、生活支援体制整備事業、また介護保険事業である通所介護事業、居宅介護支援事業と様々な職種が同じ場所で仕事をしているため、事務所内での自然な雑談や各事業の「管理者」が必要があればその場でミーティングを行うなど、それぞれの職員が話しやすい「風通しの良い職場環境」作りを目指し、連携を図っています。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・各事業とも人員配置基準、資格要件等を満たし、業務を遂行しています。
- ・法人における人事考課制度のもと、職員とは年度目標を立てるところから、中間期における進捗状況の確認、年度末の達成状況の振り返りと年度を通して定期的に確認作業を行っています。
- ・常勤、非常勤職員を問わず、必要な研修受講の支援を行っています。
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業においては、自事業所のサービスや特定の事業所のサービスに偏ることがないように幾つかの選択肢を提示しながら、公正・中立の確保を図っています。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区とのそれぞれの関係者、関係団体等と事業、会議、研修などを通して連携を図り、幅広いネットワークを構築していきます。
- ・障がい者の関係においても、南区障がい児者団体連絡会、生活支援センター、地域の作業所、また近隣の横浜国立大学特別支援学校などとも連携を図り、交流を持ちながらネットワークを構築していきます。

(5) 区行政との協働

- ・第3期南区地域福祉保健計画の推進にも南区役所、南区社会福祉協議会と連携し、参画していきます。
- ・南区の認知症事業の支援をはじめ、認知症キャラバンメイトや介護予防サポーターの支援を協同で行っていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・地域活動交流事業の主たる目的である「介護予防への取り組み」「ボランティアの掘り起し、育成」に重点を置き、自主事業を進めていきます。また、既存の自主事業においても更なる発展を目指し、適宜、必要な見直しを行っています。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・施設の利便性の良さを最大限に活かし、高齢、子育て、また障がいの団体など地域の様々な福祉・保健関係の団体登録を進めていきます。
- ・「マタニティ・ヨガ」や「サンサンクラブ体操教室」など既存の団体がOB会や仲間作りの場として別のグループを立ち上げていますが、既存の団体がさらなる展開をしていくことの支援も行っています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・「ボランティア・カレッジ」も3年目を迎えますが、一般の方々が興味を覚えるようなテーマを設定しながら、ケアプラザにはあまり馴染みのないような地域の方々の参加を促し、ケアプラザでのボランティアの紹介、また地域の様々な活動の中でのボランティアの紹介などを行い、地域で活動できる人材の掘り起し、育成を行っていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・南区役所、南区社会福祉協議会と連携を密にし、高齢、子育て、障がい等に関する情報の更新を行っていきます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区それぞれで開催している高齢者サロン、子育てサロン等の情報を順次、広報誌「おおおか通信」の中で取り上げ、地域の方々にそれぞれのサロンの特徴などを「目に見える形」で周知をしていきます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・生活支援コーディネーターが中心となり、地域包括支援センター職員等のサポートを得て、地域における既存の組織や取り組みなどを活用しながら、「関係者のネットワーク化」「地域に不足する生活支援サービスの創出」「サービスの担い手の養成」「ニーズとサービスのマッチング」など、地域における生活支援等サービスの提供体制を整備していきます。
- ・生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員、地域活動交流職員等が、日々、風通しの良い関係を築きながら、定期的にミーティングの場を持ち、連携を深めていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・第1層生活支援コーディネーターや区内の生活支援コーディネーター等と日頃から情報交換を行い、区域におけるニーズや資源の把握を行っていきます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区における高齢者サロンに積極的に出向くことで、それぞれの抱えている課題など共通するものを洗い出していきます。

(3) 連携・協議の場

- ・地区社協、地域の民生委員、地域の関係者、介護事業者、医療関係者、行政や関係機関等と連携し、地域ケア会議等既存の会議や地域が主体で行っている会議を関係者のネットワークづくりや新たな資源の開発（高齢者の居場所づくり等）のための協議の場として開催できるよう協力を求めています。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・第1層生活支援コーディネーターの取り組みに沿った形で、協議体などにより構築したネットワーク等を活用して地域のニーズを把握し、それに基づくサービスの開発、整備に関する企画・立案・方針策定などを行っていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区の民生委員児童委員協議会との連携、関係作りを図り、また、それぞれのエリアの会議、行事、研修会等の側面的支援を行っていきます。
- ・認知症サポート・キャラバンメイトとの展開を協同して進めていきます。
- ・高齢者のサロンなどでの介護予防事業の展開を地域と連携して行っていきます。

②実態把握

- ・定例でおこなっている区役所とのカンファレンスなどを通して、また、地域支援チームのそれぞれのメンバー等の連携を通して、地域の情報、地域の状況などを把握していきます。

③総合相談支援

- ・立地条件の良さも伴って大岡地域ケアプラザには、電話での相談、来所での相談など、子どもから高齢者まで幅広い層からの相談が多く寄せられています。地域包括支援センター職員が関係機関とも連携を図りながら親切で丁寧な対応を心がけています。
- ・地域ケアプラザから少し距離のある井土ヶ谷地区においては、月に3回「出張相談」を行い相談を受けています。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・地域のサロンや出張相談の場などを活用して「成年後見制度」の研修や専門の講師を招いて「消費者被害」に係る啓発を行っていきます。
- ・個別の支援を通して相談を受け、必要な場合は専門機関につなげていきます。

②高齢者虐待への対応

- ・地域の民生委員、また介護事業所などからの情報を基に関係機関と密接に連携を図り、必要な支援を行っていきます。

③認知症

- ・大岡エリアのキャラバンメイトと定期的な連絡会を開催し、情報交換、また「認知症サポーター養成講座」などの開催も連携して行っています。
- ・大岡小学校の児童に対して、地区社会福祉協議会、南区社会福祉協議会、そして地域ケアプラザとが連携して、「認知症サポーター養成講座」を授業の一環として実施して行きます。このことにより毎年、同じ学年の児童が認知症のことを学ぶ機会が生まれ、若年層に対する認知症の啓発につなげて行きます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区の民生委員、ケアマネジャー、また、地域の医師、高齢者サロンの代表者など、地域における様々な「社会資源」を目に見える形でつなげていき、地域における良好な支援体制を築いて行きます。

②医療・介護の連携推進支援

- ・地域の医療機関、薬局の医師、薬剤師等と日頃から交流を持ち、地域の介護事業者との「つなぎ役」として連携を推進して行きます。

③ケアマネジャー支援

- ・南区内の新人ケアマネジャーを対象にして、「新人ケアマネジャー研修会」を行い、継続的な支援を行って行きます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区の民生委員と「ケアマネ交流会」を開催し、地域の方々と「顔の見える関係」作りの支援を行って行きます。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・南区在宅医療支援ネットワークの事務局として、地域の関係機関のネットワーク作りに関わっていきます。
- ・南区、南区社会福祉協議会等と連携しながら地域ケア会議を進めていきます。また、地域の高齢者サロンの担い手や民生委員などの参加も呼びかけながら、地域における課題を共有し、検討を深めていきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- ・介護予防・日常生活支援総合事業の内容を踏まえ、南区の担当者と連携を図りながら、総合事業を推し進めていきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区において介護予防教室を行っていきます。また、今年度も「男性体操教室」好評につき継続して行っていきます。
- ・高齢者のサロンなどにおいても介護予防体操を実施していきます。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区の「元気作りステーション」が地域の担い手を中心に進めていけるようにサポートしていきます。

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・開所して25年が経過しますが、施設全体はもとより地域ケアプラザの様々な所で不具合が生じてきています。南区役所と協議を重ねながら、高齢者、子ども等ご利用者が事故に至らぬように早目の修繕・補修を行っていきます。
- ・「健康プラザ」として地区センター、スポーツセンター、地域ケアプラザの3館が連携を図りながら、施設全体の維持管理を専門業者に委託し、定期的な保守・点検を行っていきます。
- ・「安全衛生委員会」の中で、地域ケアプラザの施設内で事故に至らないように、施設内の整理整頓、安全管理について見直していきます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・費用対効果の考え方を職員間で共有していきます。各事業においても業務改善、時間管理、コスト管理の視点を持って、これまでのやり方、仕事の進め方の見直しを行っていきます。

ウ 苦情受付体制について

- ・苦情受付窓口（受付者：社会福祉士 責任者：所長）を設置し、苦情の申し出に迅速な対応が取れる体制を整備していきます。
- ・施設内に「苦情受付担当者」「第三者委員」の氏名、連絡先等を掲示し、苦情受付窓口では収まりきれない苦情等の窓口としていきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・職員全員のメーリングリストを作成し、それを小さなグループに細分化しながら緊急時の職員の安否確認体制を作っていきます。
- ・大災害時「特別避難場所」として機能を果たすことが出来るように、職員とともに開設、運営における手順、役割分担の確認作業を進めていきます。

オ 事故防止への取組について

- ・施設で生じた事故については、所内で共有し、また、所内における諸会議等において事故の原因を見出し、改善への具体的な対策について考えていきます。
- ・特に、送迎時や入浴介助時等で事故の生じやすい通所介護事業においては、実際の事故、南区内で生じた事故などを事例として「デイスタッフ会議」の中でグループワークを行い、原因の究明、具体的な対策を考え、再発の防止に努めていきます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報の持ち出しは原則禁止。ただし、業務上やむを得ず持出ししなければならない場合は、最小限に留め、「持出品確認票」に記入し、他の職員とともにダブルチェックを行っています。
- ・ファックス等誤送信の防止のため、「指さし確認」「声出し確認」を複数の職員で確認しています。
- ・USBメモリについても「包括用」「請求用」「地域用」の3本のみを使用としています。保管においてもキーボックスで管理し、鍵のかかる書棚で保管しています。

キ 情報公開への取組について

- ・「介護サービス情報の公表制度」に伴い、通所介護、居宅介護支援事業において公表を行っていきます。
- ・個人情報開示の請求があった場合は、法人の「個人情報管理規程」に則り、適正に対応していきます。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・施設内で不用となる物品、壊れて使用できない物品などを洗い出し定期的に廃棄処分を行っていきます。また、法人の規定における保存期間の過ぎた書類等についても適切に廃棄処分を行っていきます。
- ・太陽光パネルを健康プラザ屋上に設置しており、災害時等の際の非常用の電源としていきます。

ケ 人権啓発への取組について

- ・高齢者や障がいのある方々など他者と関わることがケアプラザ職員の仕事であり、自分とは違う他者の存在を認め、大切にする「思いやりの心」を一人一人の職員が見失うことがないように、事業所内で自然に話し合えるような「環境」を整えていくとともに、研修などを通して、「差別」「偏見」「ハラスメント」など人権に関わる意識を高めていけるように進めていきます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 社会福祉士 2名
- ・ 主任介護支援専門員 1名
- ・ 経験ある看護師 1名
- ・ 予防プランナー 2名

《目標》

介護予防・日常生活支援総合事業の内容を踏まえ、南区の担当者と連携を図りながら、総合事業を推し進めていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
245	245	245	245	245	245
10月	11月	12月	1月	2月	3月
245	245	245	245	245	245

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 介護支援専門員 3名

《目標》

- ・ 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、個々のニーズに沿ったサービスが提供されるように、事業者、関係機関と調整を行い、利用者本位の居宅サービス計画書を作成していきます。
- ・ サービス事業者の選定においては、公正・中立な立場を守ります。
- ・ 関係機関、医療、行政等との連携を通して「顔の見える関係」を構築し、より良いケアマネジメントに反映させていきます。
- ・ 介護支援専門員の連絡会、外部機関等による関連研修などに積極的に参加し、専門職としてのスキルアップを目指していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター併設の強みを活かし、支援困難ケースに対しても積極的に関わっていきます。また、介護保険のみならずインフォーマルな活動とも連携してコーディネートしていきます。
- ・ 地域ケアプラザの多くの職種（通所介護・地域活動交流・地域包括支援センター）とともに地域に潜在する課題やニーズの発掘や対応の方向性など、連携し対応してきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
100	100	100	100	100	100
10月	11月	12月	1月	2月	3月
100	100	100	100	100	100

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	794	円
（要介護2）	927	円
（要介護3）	1,064	円
（要介護4）	1,021	円
（要介護5）	1,338	円
- 食費負担 750 円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10 ~ 16:15（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- 生活相談員
- 介護職員
- 看護師及び機能訓練指導員
- 調理員
- 送迎車両運転手

《目標》

- ・ 利用者が住み慣れた地域で生活していくことができるように、日常生活のための機能の維持、向上を目指して機能訓練に力を入れ取り組んでいきます。
- ・ 認知症の利用者の方々が安心して1日を過ごしていただけるように、職員の認知症に対する理解、対応においてスキルアップを図っていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 選択制のレクリエーションを行っています。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
720	744	720	744	744	720
10月	11月	12月	1月	2月	3月
744	720	672	672	672	744

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 食事サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 1, 975円

（要支援1） 1, 975円

（要支援2） 3, 930円

● 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10 ~ 16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 介護職員
- 看護師及び機能訓練指導員
- 調理員
- 送迎車輛運転手

《目標》

- ・ 介護予防サービス計画書に基づいて予防通所介護計画書を作成し、利用者の生活機能の維持・向上を目的として行っていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 書道、絵手紙などボランティア等の協力をいただきながら、幅広い選択できるレクリエーションの提供を行います。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

平成29年度 「横浜大岡地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（地域活動交流事業）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,192,000		16,192,000		16,192,000	横浜市より
利用料金収入	688,000		688,000		688,000	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	115,000		115,000		115,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料収入			0		0	
その他(施設使用料相当額)	△ 1,977,500		△ 1,977,500		△ 1,977,500	
その他(法人負担分)	1,977,500		1,977,500		1,977,500	
収入合計	16,995,000	0	16,995,000	0	16,995,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,971,000	0	10,971,000	0	10,971,000	
本俸	7,753,000		7,753,000		7,753,000	
社会保険料	788,000		788,000		788,000	
手当計	1,516,000		1,516,000		1,516,000	
健康診断費	70,000		70,000		70,000	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000		7,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	237,000		237,000		237,000	
その他(地域交流人件費の消費)	600,000		600,000		600,000	
事務費	779,000	0	779,000	0	779,000	
旅費	15,000		15,000		15,000	
消耗品費	180,000		180,000		180,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	5,000		5,000		5,000	
通信費	180,000		180,000		180,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	57,000		57,000		57,000	
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	
振込手数料	17,000		17,000		17,000	
リース料	25,000		25,000		25,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	297,000		297,000		297,000	
事業費	463,000	0	463,000	0	463,000	
運営協議会経費	12,000		12,000		12,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	451,000		451,000		451,000	
自主事業費			0		0	
管理費	4,782,000	0	4,782,000	0	4,782,000	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000	
電気料金	500,000		500,000		500,000	
ガス料金	400,000		400,000		400,000	
水道料金	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
清掃費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
修繕費	479,000	0	479,000	0	479,000	
機械警備費	53,000		53,000		53,000	
設備保全費	662,000	0	662,000	0	662,000	
空調衛生設備保守	40,000		40,000		40,000	
消防設備保守	4,000		4,000		4,000	
電気設備保守	22,000		22,000		22,000	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費	11,000		11,000		11,000	
その他保全費	580,000		580,000		580,000	
共益費	58,000		58,000		58,000	
その他	130,000		130,000		130,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	16,995,000	0	16,995,000	0	16,995,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市大岡地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（地域包括支援センター・介護予防・生活支援体制整備事業）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	27,918,000		27,918,000		27,918,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	149,000		149,000		149,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	4,049,000		4,049,000		4,049,000	介護保険収入等充充分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	50,000		50,000		50,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	40,000	0	40,000	0	40,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（実習生受入）	40,000		40,000		40,000	
収入合計	37,995,000	0	37,995,000	0	37,995,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	35,215,000	0	35,215,000	0	35,215,000	
本俸	19,630,000		19,630,000		19,630,000	
社会保険料	4,282,000		4,282,000		4,282,000	
手当計	10,195,000		10,195,000		10,195,000	
健康診断費	47,000		47,000		47,000	
勤労者福祉共済掛金	29,000		29,000		29,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,032,000		1,032,000		1,032,000	
その他	0		0		0	
事務費	975,000	0	975,000	0	975,000	
旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	110,000		110,000		110,000	
会議賄い費	2,000		2,000		2,000	
印刷製本費	15,000		15,000		15,000	
通信費	260,000		260,000		260,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	30,000		30,000		30,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	15,000		15,000		15,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	13,000		13,000		13,000	
リース料	74,000		74,000		74,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	406,000		406,000		406,000	
事業費	811,000	0	811,000	0	811,000	
協力医	252,000		252,000	0	252,000	指定額
介護予防事業	149,000		149,000	0	149,000	
生活支援体制整備事業費	320,000		320,000	0	320,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	90,000		90,000	0	90,000	
自主事業費			0		0	
管理費	994,000	0	994,000	0	994,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	580,000	0	580,000	0	580,000	
電気料金	130,000		130,000	0	130,000	
ガス料金	100,000		100,000	0	100,000	
水道料金	350,000		350,000	0	350,000	
清掃費	93,000		93,000	0	93,000	
修繕費	131,000		131,000	0	131,000	
機械警備費	10,000		10,000	0	10,000	
設備保全費	125,000	0	125,000	0	125,000	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
消防設備保守	1,000		1,000	0	1,000	
電気設備保守	6,000		6,000	0	6,000	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	0	5,000	
駐車場設備保全費	3,000		3,000	0	3,000	
その他保全費	100,000		100,000	0	100,000	
共益費	15,000		15,000	0	15,000	
その他	40,000		40,000	0	40,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	37,995,000	0	37,995,000	0	37,995,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業計画書

横浜市大岡地域ケアプラザ

- ※1 部門別に記載してください。共催事業の場合は、いずれかの部門に記載し、事業名の後に（共催事業）と明記してください。
- ※2 平成29年度からの新規事業の場合は、事業名の後に（新規事業）と明記してください。

地域活動交流事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
月曜サロン 1!2!4! (新規事業) (共催事業)	午前からお昼の時間帯まで地域の方が気軽に集まれる場所としてフリースペースとして部屋を開放。自主的活動の「場」とする。 午後は高齢者対象で脳トレ・口腔体操・健康体操をそれぞれの週に入れ、介護予防を促進する。 ケアプラザとボランティア自主グループとの共催。	原則毎月第1・2・4 月曜日 11:00～14:00 〔年36回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大岡川ふれあい サロン (共催事業)	介護予防を目的として、本大岡地区社協と共催。 ボランティアの協力のもと、ケアプラザまで遠い方でも身近な場所で定期的に集い、体操、食事、レクリエーションを出来るよう、町内会館を利用して継続的に開催。	原則毎月第2金曜日 11:00～14:00 (8・2月 休み) 〔年10回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンサンクラブ 体操教室	知的障がいのある小学生の余暇活動を支援する目的で、みんなで音楽に合わせて体を動かしたり、遊びの要素を取り入れた体操教室。 教室の始まる前の時間を使って早くに自由にお絵かきや粘土などのレクリエーションの他、夏休みやクリスマスのレクリエーション等イベントも開催。 保護者においては教室の時間を利用し、学年を超えて保護者同士の交流、情報交換の場所を提供。必要に応じ勉強会も行う。	6月～翌3月 原則第1・3水曜日 15:00～フリースペース 15:30～16:30体操 〔全17回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室	出産を迎える妊婦さんの健康維持と社会的な孤立を解消するためにヨガのほか助産師による相談や仲間作りを促すお話の時間も設ける。安心して出産に望める環境づくりを支援し虐待の予防を目指す。 体操の他に、今までの卒業生を交え出産の体験談など交流も行う。	5月～翌3月 第1・3木曜日 10:00～11:30 年3クール (1クール 5回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室同窓会	<p>ヨガ教室の卒業生が出産を終えた後、1回集まって同窓会を行う。同じ時期に近場に住む妊婦同士がヨガ教室で仲間となり、出産を通して地域での協力し合う同志を確認し合う。</p> <p>また、ケアプラザにおける「子育て事業」に対する意見やアイデアを出してもらい、出産後もケアプラザを通して地域参加できる仕組みを作る。</p>	年3回・不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おーおか通信 (広報紙)	<p>本大岡・井土ヶ谷の両町内会協力のもと、約1200部を配布。ケアプラザの様子や介護保険等福祉の情報の提供を行う。</p> <p>さらにケアプラザからの情報発信源として、地域の情報も盛り込む</p>	年4回発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこサンデー	<p>公的な場所で安心して遊べる「場」の提供と、父子の交流を図る。若い世代へのケアプラザの周知。</p>	原則毎月第1日曜日 13:30~16:00 (月1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス トーンチャイム コンサート (共催事業)	<p>普段ケアプラザを利用している団体や個人、ボランティアの方を始め、近隣の福祉施設利用者の方とともにクリスマスを愉しむ企画。</p> <p>日頃同じ場所を利用してもつながりがない人たちが、顔を合わせ交流を深める。</p>	12月 1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア 感謝会	日頃よりケアプラザで活動していただいているボランティアに感謝会を行う。 また、ボランティア同士が顔見知りの関係になってもらい、新しいつながりを築く場に。	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性体操教室	日頃、外出の機会が少なく足腰に自信のない方向けの介護予防体操教室。男女を問わず募集すると女性が集まりやすく、男性の参加が減ってしまうため、男性限定で行う。	原則毎月 第1、3金曜日 10:00～11:30 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業計画書

横浜市大岡地域ケアプラザ

※1 部門別に記載してください。共催事業の場合は、いずれかの部門に記載し、事業名の後に（共催事業）と明記してください。

※2 平成29年度からの新規事業の場合は、事業名の後に（新規事業）と明記してください。

生活支援体制整備事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア カレッジ	介護保険の制度改正等があり、より地域活動が重要視されている中で、ケアプラザで活躍される以外の方々を対象に地域の担い手や施設のボランティアを発掘、育成する。	コース制 年2回 7月 3回コース 11月 3回コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報費	高齢者サロンマップ等、生活支援体制整備事業の目的に沿った案内を地域の高齢者等に周知するためにチラシ印刷等を行う。	適宜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居場所づくり等 開設費	居場所づくり等のための開設資金。備品等を購入する。	適宜

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業計画書

横浜市大岡地域ケアプラザ

- ※1 部門別に記載してください。共催事業の場合は、いずれかの部門に記載し、事業名の後に（共催事業）と明記してください。
- ※2 平成29年度からの新規事業の場合は、事業名の後に（新規事業）と明記してください。

地域包括支援センター運営事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大岡はらっぱ水曜会 (新規事業)	脳トレウォーキング教室の継続教室。自主化をめざす。ウォーキングとコグニサイズを行うことで認知症予防を促進する。また、ボランティアにより会が継続できるように支援していく。	原則第2・4水曜日 10:00～11:30 (年23回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社会福祉士による出張相談	ケアプラザが遠くて来所できない方のための出張相談。総合相談の一環として、広く生活上の相談を受け、個別の課題解決を目指すとともに、地域のニーズ、共通課題を把握する。 第1週 東団地 第2週 井土ヶ谷上町第一町内会館 第3週 井土ヶ谷共同ビルにて実施。予約優先だが、予約なしでも可。必要に応じて自宅訪問も実施。 合わせて、この枠の中で、外部講師を招いて消費者講座を実施し、地域住民の消費者被害の予防を図る。	毎月 第1・2・3火曜日 13:30～15:30 主にこの時間枠内で 各年1回 消費者講座を開催 (6月、7月、8月実施予定)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虐待についての勉強会、事例検討会	主にエリア内でともに支援するケアマネジャーとともに、当ケアプラでの相談事例を題材として、虐待の早期発見、予防、対応について、学習する。	年1回 11月実施予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見についての勉強会、事例検討会	主にエリア内でともに支援するケアマネジャーとともに、当ケアプラでの相談事例を題材として、成年後見制度の利用促進、対応について、学習する。	年1回 2月実施予定

平成29年度 自主事業収支計画書

横浜市大岡地域ケアプラザ

※1 部門別に記載してください。共催事業の場合は、いずれかの部門に記載し、事業名の後に（共催事業）と明記してください。

※2 平成29年度からの新規事業の場合は、事業名の後に（新規事業）と明記してください。

地域活動交流事業

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
月曜サロン1!2!4! (新規事業) (共催事業)	①原則65歳以上	30,000	30,000	0	0	10,000	20,000
	②300						
	③100						
大岡川ふれあいサロン (共催事業)	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②240						
	③600						
サンサンクラブ体操教室	①知的障がいのある小学児童	163,000	133,000	30,000	133,000	10,000	20,000
	②200						
	③200						
マタニティヨガ教室	①区内在住妊婦	135,000	45,000	90,000	120,000	5,000	10,000
	②300						
	③1500(5回分)						
マタニティヨガ同窓会	①マタニティ教室卒業生	24,500	24,500	0	18,000	1,500	5,000
	②45組						
	③なし						
おーおか通信		40,000	40,000	0	0	0	40,000
にこにこサンデー	①未就園児親子	17,000	17,000	0	0	10,000	7,000
	②15組×10回						
	③なし						
クリスマス トーンチャイム コンサート (共催事業)	①地域全般	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	②50組						
	③100						
ボランティア感謝会	①地域全般	50,000	50,000	0	0	0	50,000
	②40						
	③なし						
男性体操教室	①原則65歳以上男性限定	253,500	133,500	120,000	240,000	0	13,500
	②10人×24回						
	③500						
		0					
		0					
		716,000	476,000	240,000	511,000	36,500	168,500

平成29年度 自主事業収支計画書

生活支援体制整備事業

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア カレッジ	①地域全般	30,000	30,000		27,000	0	3,000
	②40						
	③なし						
広報費	①	20,000	20,000			0	20,000
	②						
	③						
居場所づくり等開設費	①	100,000	100,000			0	100,000
	②						
	③						
		0					
		0					
		150,000	150,000	0	27,000	0	123,000

地域包括支援センター運営事業

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
大岡はらっぱ水曜会 (新規事業)	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②40～50						
	③なし						
社会福祉士による出張相談	①エリア内住民	26,000	26,000	0	0	0	26,000
	②各回2～3名						
	③なし						
虐待についての勉強会、 事例検討会	①ケアマネジャー等	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	②30名程度						
	③なし						
成年後見についての勉強 会、事例検討会	①ケアマネジャー等	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	②30名程度						
	③なし						
		0					
		32,000	32,000	0	0	0	32,000